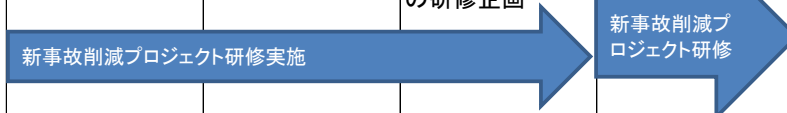


## 仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

### 【取組み概要】

番号	1-1-1(バス)	分類	共通	担当課	業務課	戦略	安全・安心の推進	年度	R3
取組	安全運行の確保			個別取組	安全運行確保のための研修・訓練の実施				
目的	研修等の実施により、お客様の安全の確保と、職員の対応能力の向上を図る。								
内容	バス運転手を対象とした事故削減プロジェクト研修(※1)を実施し、安全運行に必要な知識、技術の習得や、危険感受性を高める。								
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7				
予定	・研修実施 ・令和4年度以降の研修企画				・令和7年度以降の研修企画 新事故削減プロジェクト研修				
実績	・研修実施 ・令和4年度以降の研修内容決定								

### 【年度計画】

目標と実施方法	令和元年度から行っていた研修は、本年令和3年度が最終年度となるため、全運転手漏れなく受講するよう実施する。令和4年度から3年間をかけて、全乗務員を対象とした新しい事故削減研修を実施する。	数値目標	年間12回実施
---------	---	------	---------

### 【年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	予定通りに進んでいたが、第12回事故削減プロジェクト研修については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から次年度に延期した。	数値目標の達成状況	スケジュール・回数ともに達成していたが、左記理由により第12回事故削減プロジェクト研修については令和4年度内早期に実施する。
課題と改善策					

### 【備考】

※1「事故削減プロジェクト研修」とは、ドライブレコーダーの映像を活用した危険予知トレーニングなど事故削減を目的に実施する研修のことです。
--

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	1-1-1(地下鉄)	分類	共通	担当課	安全推進課	戦略	安全・安心の推進	年度	R3
取組	安全運行の確保		個別取組	安全運行確保のための研修・訓練の実施					
目的	研修等の実施により、お客様の安全の確保と、職員の対応能力の向上を図る。								
内容	各種の異常時対応訓練(主に情報伝達訓練)及び研修等を行う。								
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7				
予定	各種の異常時対応訓練(主に情報伝達訓練)及び研修等の実施				・令和8年度以降の訓練及び研修等計画策定				
実績	各種異常時対応訓練(主に情報伝達訓練)を実施								

【年度計画】

目標と実施方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>仙台市交通局高速鉄道防災等に関する取扱要領及び仙台市交通局高速鉄道安全基本計画に基づき訓練を実施する。</li> <li>担当者会議等において、より効果的な訓練方法を検討する。</li> </ul>	数値目標	年間3回実施。
---------	--	------	---------



【年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合防災訓練、冬期連絡体制確認訓練及び情報伝達訓練を実施した。</li> <li>R3.8に小田急線、R3.10に京王線で発生した傷害事件を受け、類似事象への対応について、下期の情報伝達訓練に反映させた。</li> </ul>	数値目標の達成状況	年間3回実施した。
課題と改善策					

【備考】

## 仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

### 【取組み概要】

番号	1-1-2(バス)	分類	共通	担当課	業務課	戦略	安全・安心の推進	年度	R3
取組	安全運行の確保			個別取組	運転技術の向上				
目的	お客様に安心・安全・快適な輸送を提供することで、交通局への信頼を確保・向上させる。								
内容	各営業所で実施するスキルアップ研修(※1)会等において技術指導を行うとともに、バス運転手を対象に運転技術コンテスト(※2)を実施し、士気を高め、運転技術の向上を図る。								
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7				
予定	 スキルアップ研修等の実施								
実績	 スキルアップ研修の実施								

### 【年度計画】

目標と実施方法	・スキルアップ研修会等において技術指導などを行い運転技術の向上を図る。 ・バス運転業務の委託先にも参加を呼びかけて運転技術コンテストを実施し、運転技術向上を図る。	数値目標	・運転技術コンテスト 年1回実施 ・スキルアップ研修 年4回実施
---------	--	------	-------------------------------------

### 【年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	【スキルアップ研修会】 ・病気療養中などの理由により一部、未受講者がいるが、予定通り進行した。 【運転技術コンテスト】 ・9月開催予定のコンテストは、議会日程期間中のため開催できなかったが、10/14に実施した。	数値目標の達成状況	・運転技術コンテスト 1回実施 ・スキルアップ研修 営業所ごとに各4回実施
課題と改善策					

### 【備考】

※1「スキルアップ研修」とは、安全運行に必要な技能と知識をバス運転手に習得させることを目的とした国土交通省の指針に基づき実施する研修のことです。

※2「運転技術コンテスト」とは、各営業所の代表者が模擬コースに設定された課題を制限時間内にクリアする競技やバスの運行における基本動作・手順を採点し競い合う競技会のことです。

## 仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

### 【取組み概要】

番号	1-1-2(地下鉄)	分類	共通	担当課	運転課	戦略	安全・安心の推進	年度	R3
取組	安全運行の確保			個別取組	運転技術の向上				
目的	お客様に安心・安全・快適な輸送を提供することで、交通局への信頼を確保・向上させる。								
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗務助役による添乗指導を実施し、事故防止及び快適なサービスにつながる基本動作について指導する。</li> <li>年1回手動運転の技能保有確認を実施し、運転士の運転技能水準の維持向上を図る。</li> </ul>								
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7				
予定	効果的な指導検討・実施								
実績	効果的な指導検討・実施								

### 【年度計画】

目標と実施方法	乗務助役が運転士に対し年1回、手動運転の技能保有状況を確認する。	数値目標	全運転士に対し年1回実施する。
---------	----------------------------------	------	-----------------


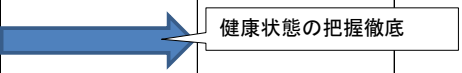
### 【年度評価】

評価	○	進捗状況・評価の説明	再任用職員や会計年度任用職員等、勤務回数が少ない運転士に対する技能保有確認が年度内に実施できなかった。	数値目標の達成状況	一部達成できなかった。
課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後は勤務予定を確認しながら計画的に技能保有確認を実施する。</li> <li>乗務区によって添乗指導の評価基準が統一されてなかったため、両乗務区の乗務助役が意見交換を行い評価基準を統一した。</li> <li>添乗指導実施後に再指導の対象となった運転士の改善状況を確認するための記録簿を新たに作成し、令和4年度から運用を開始し当該運転士に対する指導教育のポイントを絞り込み有責事故及び操作ミス未然防止に取り組む。</li> </ul>				

### 【備考】

## 仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

### 【取組み概要】

番号	1-1-3(バス)	分類	共通	担当課	業務課	戦略	安全・安心の推進	年度	R3
取組	安全運行の確保			個別取組	職員の健康管理の推進				
目的	バス運転手の健康状態を把握することで、健康に起因する重大な事故を未然に防ぐ。								
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各営業所において、対面点呼によりバス運転手の健康状態を把握する。また、運行管理業務点検(※1)で点呼状況を確認する。</li> <li>・各営業所において、バス運転手の健康診断を実施し、健康状態を把握する。</li> <li>・隔週で看護師が営業所を訪問し、血圧測定や健康相談を行いバス運転手の健康状態を把握する。</li> </ul>								
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7				
予定									
実績									

### 【年度計画】

目標と実施方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対面点呼により、バス運転手の健康管理を確認する。各営業所の点呼状況を確認し、指導・助言を行う。</li> <li>・定期健康診断を実施する。</li> <li>・健康診断の結果を受けて営業所長等により個別面談を行い早期改善に務める。</li> <li>・睡眠時無呼吸症候群(SAS)に係る簡易検査を定期的に実施する。また、その結果に基づく面談を実施する。</li> </ul>	数値目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行管理業務点検の実施(年末まで6回)</li> <li>・定期健康診断の実施(年1~2回)</li> <li>・営業所長による個別面談(年3回)</li> <li>・睡眠時無呼吸症候群(SAS)面談(毎月)</li> </ul>
---------	--	------	---

### 【年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	日々の各点呼時や営業所長による個別面談をはじめ様々な取り組みにより、職員の健康管理の把握に努めた。	数値目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行管理業務点検の実施(年末まで6回)</li> <li>・定期健康診断の実施(年1回)</li> <li>・営業所長による個別面談(年3回)</li> <li>・睡眠時無呼吸症候群(SAS)面談(毎月)</li> </ul>
課題と改善策					

### 【備考】

※1「運行管理業務点検」とは、各営業所において運行管理業務が適正に行われているか確認するものです。

## 仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

### 【取組み概要】

番号	1-1-3(地下鉄)	分類	共通	担当課	運転課	戦略	安全・安心の推進	年度	R3
取組	安全運行の確保			個別取組	職員の健康管理の推進				
目的	地下鉄運転士の健康状態を把握することで、健康に起因する重大な事故を未然に防ぐ。								
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各乗務区において、点呼時に心身状況の確認を徹底する。</li> <li>・各乗務区において、年に1～2回地下鉄運転士の健康診断を実施し健康状態を把握する。</li> <li>・隔週で看護師が乗務区を訪問し血圧測定や健康相談を行い地下鉄運転士の健康状態を把握する。</li> </ul>								
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7				
予定	健康状態の把握徹底								
実績	健康状態の把握徹底								

### 【年度計画】

目標と実施方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗務助役が点呼時に地下鉄運転士の健康管理を確認する。</li> <li>・定期健康診断の実施。</li> <li>・健康診断結果を基に運転士の健康状態を把握するため面談を実施する。</li> </ul>	数値目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所属長等が全運転士に対し年2回の面談指導を実施。</li> <li>・安全総点検時、幹部職員による点呼状況の確認。(年1回)</li> </ul>
---------	---	------	---



### 【年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	日々の各点呼時や所属長等による面談をはじめ様々な取り組みにより、職員の健康管理の把握に努めた。	数値目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所属長等が全運転士に対し年2回の面談指導を実施。</li> <li>・安全総点検時、幹部職員による点呼状況の確認。(年1回)</li> </ul>
課題と改善策					

### 【備考】

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	1-1-4	分類	バス	担当課	輸送課	戦略	安全・安心の推進	年度	R3
取組	安全運行の確保			個別取組	バス停留所の安全性確保				
目的	バス停留所について、国土交通省東北運輸局、宮城県警察や道路管理者等の関係者で構成される「宮城県バス停留所安全性確保合同検討会」の場等で全国的方針に基づき安全性の確保を図る。								
内容	運輸支局等及び交通局が関係機関(宮城県警、道路管理者等)の協力を得て、安全上の優先度に応じたバス停留所安全性確保対策についてランク付け(※1)し移設を含めた代替地の選定、廃止の検討などを行い、バス停留所の安全性の確保を図る。								
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7				
予定	バス停留所の状況確認・対応 								
実績	14/73改善 								

【年度計画】

目標と実施方法	安全性の確保が必要なバス停留所(73か所)について、現地確認を行い、点検結果を関係機関と協議し移設や廃止を含め削減していく。	数値目標	優先度の高いAランク(2か所)への対策を講じる。
---------	--	------	--------------------------

【年度評価】

評価	○	進捗状況・評価の説明	令和3年度においては14か所の解消であった。今後R4年度においては、さらにBランク、Cランクの改善に向け取り組んでいく。	数値目標の達成状況	危険度が高いとされるAランクの改善に取り組んできたが、移設先の候補地が見つめることができず、時間を要することからAランク他B・Cランクの取り組みを強化し、14か所の改善をすることができた。今後も出来るところから改善していく。
課題と改善策	令和3年度においては、移設を順当に進めることが出来た。今後R4年度以降の取り組みは、移設先の確保など厳しいものになると思われるが、すぐに対応できるバス停を優先に改善に努める。				

【備考】

<p>※1「安全上の優先度に応じたバス停留所安全性確保対策についてランク付け」とは、下記の定義によりランク付されているものです。          優先度が高い順から、A(2か所)・B(25か所)・C(46か所)となっています。          Aランク:バス停に停車した際に横断歩道に車体がかかる。          過去3年以内に停車したバスが要因となる人身事故が発生した。          Bランク:Aランク以外で、バス停に停車した際に横断歩道の前後5mの範囲に車体がかかる。          Aランク以外で、バス停に停車した際に交差点に車体がかかる。          Cランク:A、Bランク以外でバス停に停車した際に交差点の前後5mの範囲に車体がかかる。          A、Bランク以外で、地域住民の意見や各都道府県の実情に応じて抽出</p>
---

## 仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

### 【取組み概要】

番号	1-1-5(バス)	分類	共通	担当課	業務課	戦略	安全・安心の推進	年度	R3
取組	安全運行の確保			個別取組	マナー啓発や安全意識の醸成				
目的	マナー啓発活動を行うことで、快適な空間を作るとともに、事故の未然防止を図る。								
内容	事故の未然防止を図るため、関係機関等と連携し、各所においてマナーアップキャンペーンを実施する。(※1)								
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7				
予定									
実績									

### 【年度計画】

目標と実施方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仙台駅西口バスターミナルや各駅構内にてマナー啓発の放送を行うとともに、ポスター等による呼び掛けを実施する。</li> <li>・毎月1・15日を「マナーアップ強化日」と位置づけ、仙台駅西口バスターミナル及び指定交差点(※2)において、乗車マナーの呼びかけ及び運転マナーの調査を実施する。</li> </ul>	数値目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春期、秋期に各1回実施</li> <li>・毎月2回（マナーアップ活動）</li> </ul>
---------	--	------	---

### 【年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	乗務員への月2回の運転マナー向上の啓発活動を実施したほか、Twitterを利用し、お客さまに対しての乗車マナー向上の周知を図った。	数値目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春期、秋期に各1回実施</li> <li>・毎月2回（マナーアップ活動）</li> </ul>
課題と改善策					

### 【備考】


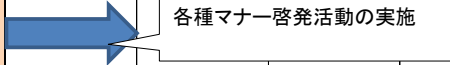
※1 ご利用時のマナーについては、下記リンクよりご確認ください。  
[仙台市交通局ウェブサイト\[安全・安心への取組み ご利用時のお願い\]](#)

※2「指定交差点」とは、事故発生リスクが高く苦情が多く寄せられる交差点のことで、二日町北四番丁交差点やJR北仙台駅入り口交差点など市内7ヶ所を設定しています。



仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	1-1-5(地下鉄)	分類	共通	担当課	安全推進課・駅務サービス課	戦略	安全・安心の推進	年度	R3
取組	安全運行の確保			個別取組	マナー啓発や安全意識の醸成				
目的	マナー啓発活動を行うことで、快適な空間を作るとともに、事故の未然防止を図る。								
内容	「エスカレーターマナーキャンペーン」、「ベビーカーそのまま乗車キャンペーン」等各種マナー啓発活動を行う。								
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7				
予定	各種マナー啓発活動の実施 								
実績	各種マナー啓発活動の実施 								

【年度計画】

目標と実施方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通局単独でのキャンペーンに加え、エレベーター協会・他事業者・他局と共催のキャンペーンについても積極的に取り組む。</li> <li>・ポスター掲示、構内・車内放送、街頭運動等、都度適時適切な方法を検討する。</li> </ul>	数値目標	年間5回実施
---------	---	------	--------

【年度評価】


評価	◎	進捗状況・評価の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベビーカー利用に関するキャンペーンを実施したほか、みやぎ高校生マナーアップキャンペーン等のマナー啓発活動に加え、広報関係のコラボ企画によるマナー啓発や、警察署及び地域防犯諸団体と共催のキャンペーンについても実施し他団体との連携を深めた。</li> <li>・警察署主催の性犯罪被害防止キャンペーンに積極的に参加し、地域一体となり防犯啓発に取り組んだ。</li> <li>・駅構内では犯罪等を未然に防止するため、駅務員が定期的に巡回している。また、宮城県警と連携しR3年度は駅構内・列車内において、約2000名の警察官が巡回警備を行っている。</li> </ul>	数値目標の達成状況	年間10回実施
課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で三密を避けるため街頭による広報活動が制限された。→感染状況やガイドラインに基づき状況に応じて街頭活動を実施する。</li> </ul>				

【備考】

※1 ご利用時のマナーについては、下記リンクよりご確認ください。  
[仙台市交通局ウェブサイト「安全・安心への取組み ご利用時のお願い」](#)

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	1-1-6(バス)	分類	共通	担当課	整備課	戦略	安全・安心の推進	年度	R3
取組	安全運行の確保			個別取組	安全運行にかかる装置等の設置・更新				
目的	安全運行にかかる装置等の設置・更新を行うことで、安全性を確保する。								
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者や自転車等との接触を防止するため、「音声」と「チャイム」により車両の接近を周囲に知らせることができる安全確認放送装置を順次設置する。</li> <li>新車を購入する際の装備として、安全確認放送装置を取り付ける。</li> </ul>								
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7				
予定	安全確認放送装置の設置 								
実績	「安全確認放送装置」を25台導入								

【年度計画】

目標と実施方法	新車を購入する際の装備品として、安全確認放送装置を取り付ける。	数値目標	25両分を取り付ける。
---------	---------------------------------	------	-------------

【年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	安全確認放送装置を25両分取り付け、装備車両率が26.8%に向上した。	数値目標の達成状況	安全確認放送装置を25両分取り付けた。
課題と改善策					

【備考】

--

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	1-1-6(地下鉄)	分類	共通	担当課	電気課、富沢管理事務所、荒井管理事務所	戦略	安全・安心の推進	年度	R3
取組	安全運行の確保				個別取組	安全運行にかかる装置等の設置・更新			
目的	安全運行にかかる装置等の設置・更新を行うことで、安全性を確保する。								
内容	<p>【ホーム柵】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南北線ホーム柵は営業中常時稼働しており、内部部品の劣化により故障の頻度が高くなることから、設備の信頼性を確保するために各部品の耐用年数に応じて定期的に部品を交換する。</li> <li>・交換周期を定めていない部品について、定期的な交換の必要性を検討する。</li> </ul> <p>【レール交換】</p> <p>南北線・東西線における摩耗による曲線部のレール交換や経年劣化による締結装置等の交換を行う。</p>								
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7				
予定	<p>【ホーム柵】定期部品交換</p> <p>【南北線】摩耗量に応じた曲線部レール交換・経年劣化による締結装置</p> <p>【東西線】摩耗量に応じた急曲線部レール交換</p>								
実績	<p>【ホーム柵】定期部品交換</p> <p>【南北線レール交換】摩耗量に応じた曲線部レール交換や経年劣化による締結装置等交換実施</p> <p>【東西線レール交換】摩耗量に応じた急曲線部レール交換の実施</p>								

【年度計画】

目標と実施方法	<p>【ホーム柵】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐用年数に応じて定期的に部品を交換する。</li> <li>・交換周期を定めていない部品の点検結果や故障の発生頻度・内容等の情報を蓄積し、定期的な交換の必要性を検討する。</li> </ul> <p>【レール交換】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の線路内作業との重複等が生じないように適切な工程調整を実施しながら進める。</li> <li>・R3年度においては、前年度までの調査結果に基づき、予定箇所の交換を実施する。</li> </ul>	数値目標	<p>【南北線レール交換】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レール交換を1か所実施する。</li> <li>・締結装置等交換を6か所実施する。</li> </ul> <p>【東西線レール交換】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レール交換を3か所実施する。</li> </ul>
---------	--	------	--

【年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	<p>【ホーム柵】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画通り定期交換部品の交換した。また、定期的な点検を行い、ホーム柵の不具合に対しても適切に対応している。交換周期を定めていなかった部品については、部品毎に方針を整理した。</li> </ul> <p>【南北線レール交換】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の線路内作業との重複等が生じないように適切な工程調整を実施した。</li> <li>・前年度までの調査結果に基づき、レール交換等を予定どおり実施した。</li> </ul> <p>【東西線レール交換】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度までの調査結果に基づき、レール交換等を予定どおり実施した。</li> </ul>	数値目標の達成状況	<p>【南北線レール交換】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レール交換を1か所実施した。</li> <li>・締結装置等交換を6か所実施した。</li> </ul> <p>【東西線レール交換】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レール交換を3か所実施した。</li> </ul>
課題と改善策					

【備考】